

第2期地域福祉計画評価に係る論点整理

～はじめにお読みください～

1. 地域福祉の目的

○地域福祉とは、社会福祉における公的サービスから漏れる部分について、社会福祉協議会等が中心となり、「地域の力」を活用して補完しようとするもの

○したがって、医療や介護等の公的サービス側から求められる、サービスの隙間や、日常生活を支援するなどの対応が行われなければならない。

求められる対応は、大きく次の2つ

①ケースワーク（直接支援もしくは人を動かし支援）

- ・ゴミ屋敷、精神障がい、引きこもりからの自立支援（困難事例：社協職員の直接援助）
- ・独居高齢者等への日常生活支援（民生委員・ボランティア等による支援）
→これらが、結果的に、病院や介護施設における対応困難ケースの受け皿となる

②コミュニティソーシャルワーク（地域を動かし支援）

- ・各地域においてボランティア等を育成し、①の体制に寄与（コーディネータ機能）
- ・要支援者同士がネットワーク化されることにより地域力を強化（サロン等）
- ・地域住民同士が話し合い等を通じて、共に支え合う地域づくりがなされる体制を構築
→このことにより、医療や介護への進行を遅らせる
→孤立や危機的不便さを解消しつつ、日常生活の基盤を整える
→地域社会への参加を促し、共生社会実現する

2. 平成27年度実績の評価について

1を踏まえたうえで、平成27年度の事業実績を総括（実施者としての分析）について下記のとおりまとめましたので、細部の確認をお願いいたします。

(1) 平成26年度から開始された生活困窮者自立支援事業をベースとして、個別ケースへの対応件数が増えてきており、それに伴いコミュニティソーシャルワークを行うためのスキルの向上が窺える。

- ・生活困窮者自立支援事業（P.3） [評価点：5]
- ・生活支援に係るケースマネジメント（P.5） [評価点：4]

(2) 昨年度の評価にて、意識の改善が必要とされていたボランティア関係事業については、ほぼ数値目標は達成できている。また、介護保険法改正に伴い、社協が市から「生活支援体制整備事業」の委託を受け、モデル地区で実施することとなったことから、地域福祉の担い手育成について、ステップアップが期待される。

- ・話し相手ボランティア事業（P.1） [評価点：3]
- ・食事サービス支援（P.6） [評価点：3]
- ・ボランティア活動支援（P.10） [評価点：3]
- ・地域における人材育成（P.12） [評価点：3]

3. 「取組み評価一覧表」の見方と評価基準

次に「取組み評価一覧表」（A3版 資料2）の確認を行っていただきます。
一覧表の見方は次のとおりです。

表の左から「実施結果の分析と今後の対策」までが、事務局（市と社協）が実績として記入する部分です。

「評価コメント」「評価点」は上記を勘案し、委員会が記入する部分ですが、叩き台として、案を事務局で記載しています。委員会当日は、この部分についてご意見をいただきます。

平成 27 年度の主な活動内容	平成 27 年度に、実際に取り組んだ活動の内容を書いています。
目標・指標	①計画上、数値目標が設定されているものには、目標値、実績値、達成度（目標値／実績値）を示しています。 ②計画上、年次計画が示されているものには、年次計画と、実績を示しています。 ③計画上、目標、年次計画が示されていないものには、活動内容に関する参考データを示しています。
実施結果の分析と今後の対策	活動内容や目標の達成度を分析した結果と、それに対する今後の対策について、実施者として、整理を行っています。
達成度平均値	その事業の数値目標達成度の平均値を示しています。数値目標が設定されていない事業には表記していません。

評価コメント	活動実績や実施者としての自己分析、今後の対策を踏まえた上で、委員会として必要な取組みや指摘、実施者に求めることなどについてコメントします。
評価点	「達成度平均値」と「評価コメント」の内容から、1～5の点数を付けていただくものです（評価基準は下記のとおり）。

【事業ごとの評価点について】

- 5 目標達成できている（数値目標 90%以上）、かつ大きな成果を伴う特筆すべき点がある
- 4 目標達成できている（数値目標 90%以上）、かつ評価すべき点がある
- 3 目標達成できている（数値目標 90%以上）、あるいは目標達成できていないが合理的理由がある、又は評価すべき点がある
- 2 目標達成できていない（数値目標 90%未満）、あるいは目標達成できているが改善すべき点がある
- 1 目標達成できていない（数値目標 90%未満）、かつ重大な改善すべき点がある

総合評価	大項目（「個別支援」「小地域支援」「地域福祉活動」「その他の取組み」）ごとに、A～D で評価するものです（評価基準は下記のとおりで、計算により自動的に算出されます）。
------	---

【総合評価について】

- A 目標達成できており、かつ特筆すべき点がある
（事業ごとの評価点の平均が、3.5 以上）
- B 目標達成できている
（事業ごとの評価点の平均が、3.0 以上 3.5 未満）
- C 目標達成できている事業もあるが、改善すべき点がある
（事業ごとの評価点の平均が、2.5 以上 3.0 未満）
- D 改善する必要がある
（事業ごとの評価点の平均が、2.5 未満）

叩き台として、事務局（市）が記入した評価コメント（案）、評価点（案）は次のような考え方に基づいて作成しています。

【個別支援】

事業名：話し相手ボランティア	評価点：3
(評価コメント)	
<input type="radio"/> 目標は達成できているが、市内の高齢者数と比較すると充足しているとは言えない。 <input type="radio"/> 民生委員による訪問活動回数が活発化している中で、本事業の意義や対象者の掘り起し、適正なボランティア数について研究・検討していただきたい。	
(評価根拠)	
<p>★目標達成できているので評価点は3</p> <p>★登録ボランティア数については、調査の結果、実態に即した数字が浮き彫りになった。</p> <p>★市内の高齢者数と比較すると、依頼者数、ボランティア数ともに充足しているとはいえないが、そもそも民生委員による訪問活動が活発化している中で、どれだけの依頼者、ボランティアがあるべきなのかははっきりしないため、これについて検討するようコメントに記載</p>	
事業名：佐世保市福祉資金貸付事業	評価点：3
(評価コメント)	
<input type="radio"/> 同様の内容での継続が適当	
(評価根拠)	
<p>★数値目標設定がなく、合理性のある実績数値の変化も見られないため、評価点は3</p> <p>★大きなプラス面・マイナス面も無いため、コメントは「継続」</p>	
事業名：佐世保市福祉資金貸付事業	評価点：3
(評価コメント)	
<input type="radio"/> 同様の内容での継続が適当	
(評価根拠)	
<p>★数値目標設定がなく、合理性のある実績数値の変化も見られないため、評価点は3</p> <p>★大きなプラス面・マイナス面も無いため、コメントは「継続」</p>	

事業名：生活困窮者自立支援事業	評価点：5
(評価コメント) ○さらなるスキルアップを目指し、継続して取り組んでいただきたい。	
(評価根拠) ★数値目標を大きく上回っており、昨年に引き続き成果を上げている。H26年度の評価点は5としており、相談件数、対応件数ともに、さらに増加しているため、H27年度の評価点も5 ★意義のある取り組みであるため、継続して行うようコメントに記載	
事業名：日常生活自立支援事業	評価点：3
(評価コメント) ○支援が必要な人に滞りなく、サービスが行き渡る体制を常に整えておくことが必要	
(評価根拠) ★目標達成しているため、評価点は3 ★支援員は、質・量ともに、常に対応可能な体制を取っておく必要があるため、その旨をコメントに記載	
事業名：高齢者あんしんセンター事業	評価点：3
(評価コメント) ○成年後見移行により、段階的に取り組むこと。	
(評価根拠) ★目標達成しているため、評価点は3 ★日常生活自立支援事業や成年後見制度に比べ、法的根拠が希薄な事業であり、やむを得ない場合に実施する性質のものであるため、引き続き成年後見への移行を進めるよう、コメントに記載	
事業名：成年後見制度の推進	評価点：2
(評価コメント) ○引き続き、制度の周知について、努力していただきたい。	
(評価根拠) ★目標達成していないため、評価点は2 ★後見人を選定するのは裁判所であり、受任数をコントロールするのは困難であるが、あんしんセンターからの移行を進めるなどの努力によって、本制度が一般化されるよう、その旨をコメントに記載	
事業名：生活支援に係るケースマネジメント事業	評価点：4
(評価コメント) ○同様の内容での継続が適当	
(評価根拠) ★数値目標設定はしていないが、生活困窮者自立支援事業と同様の考えで、評価点は4 ★適正に実施できており、コメントは「継続」	
事業名：民生委員・児童委員支援	評価点：3
(評価コメント) ○今後の対策のとおり実践されたい	
(評価根拠) ★数値目標設定はしていないが、適切に取り組まれているため、評価点は3	

★引き続き、民生委員からの相談に積極的に対応し、民生委員のバックアップをしながら職員のスキルアップを図るようコメントに記載	
事業名：緊急時連絡カード配布事業	評価点：3
(評価コメント) ○今後の対策のとおり実践されたい。	
(評価根拠) ★数値目標設定はしていないが、例年通りの取り組みであるため、評価点は3 ★ニーズはあることが分析されているため、引き続き周知を行うようコメントに記載	
事業名：救急医療情報キット実施事業	評価点：3
(評価コメント) ○今後の対策のとおり実践されたい。	
(評価根拠) ★数値目標設定はしていないが、通年通りの取り組みであるため、評価点は3 ★在宅医療を推進する上で重要な取り組みであり、医療や消防との連携も重要になってくるため、その旨をコメントに記載	

【小地域支援】

事業名：食事サービス支援	評価点：3
(評価コメント) ○新規依頼者数を増やすことも大切だが、減少の原因が何なのか分析し、地域にとって魅力あるサービスを提供できる制度となるよう取り組んでいただきたい。	
(評価根拠) ★目標達成しているので、評価点は3 ★昨年度は、グループ数の減が依頼者数の減の主な要因であると分析していたが、グループ数は増えたにも関わらず、依頼者数の減少は大きい。 ★死亡等によるやむを得ない減少なのか、食事サービス支援のあり方に課題があるのか分析し、対策を練るようコメントに記載	
事業名：ふれあい援護ネットワーク（仮称）の推進	評価点：3
○システムの導入が決定したことにより、制度開始に向けて動ける状態となった。実効性のある仕組みとなるよう、関係課、関係機関と連携しながら、計画的な準備を進めていただきたい。	
(評価根拠) ★数値目標設定はないが、システム導入が決定し、運用に向けて前進したため評価点は3 ★実効性のある制度構築に向けて、計画的に進めるようコメントに記載	
事業名：ふれあいいきいきサロンの支援・推進	評価点：4
(評価コメント) ○同様の内容での継続が適当	
(評価根拠) ★目標を大きく上回っており、サロンの意義の周知も進んでいると思われ、昨年に引き続き評価点は4 ★適正に実施できており、コメントは「継続」	

事業名：地域共生サロン（地域の居場所）づくり	評価点：3
(評価コメント)	
○「いつでも」「だれでも」集える場所が理想。現状では、その状態に達していないので、より一層の工夫、改良を	
(評価根拠)	
★目標達成しているので、評価点は3	
★本事業の目指す「地域の居場所」とは、「誰でも、いつでも集える場所」であり、現状のモデルから、より理想に近づけるようコメントに記載	

【地域福祉活動】

事業名：地区福祉推進協議会活動支援事業	評価点：2
(評価コメント)	
○福推協の意義が少しずつ根付いてきている。	
○一方で、昨年の評価の中で行うとされていたところが、十分に組み込まれているとは言い難い。「今後の対策」の内容を早急を実施すること。	
(評価根拠)	
★数値目標設定はないが、昨年度「今後の対策」としてあげていた取り組み（各地域における福祉課題の調査分析、第2期計画における活動の具体的工程の作成、これらを踏まえた各福推協との活動内容のすり合わせ）が、十分になされているとは言い難く、評価点は2	
★一方、計画に記載している6つの取り組みなど、福推協の役割についての意識は高まってきている。	
★地域課題の分析とその解決に向けた取り組みを早急に行うようコメントにて指示	
事業名：地域活性化モデル事業	評価点：4
(評価コメント)	
○同様の内容での継続が適当	
(評価根拠)	
★目標達成しており、H26年度に引き続き、モデル地区として評価に値する実績が見て取れるため、評価点は4	
★適切に実施できているため、コメントは「継続」	

【その他の取り組み】

事業名：地域福祉の一環としての福祉活動拠点の整備	評価点：3
(評価コメント)	
○今後の対策のとおり実践されたい。	
(評価根拠)	
★数値目標設定はなく、市からの委託事業も適切に実施しているため、評価点は3	
★当施設の役割である福祉系団体の自立支援に向け、実効性のある取り組みを本格的に行うよう、コメントにて指示	

事業名：地域福祉を総合的に推進するための拠点施設の整備	評価点：3
(評価コメント) ○利用者の利便性（バリアフリー化等）も考え、可能な範囲で早期に実現すべき課題である。引き続き協議を進めること	
(評価根拠) ★数値目標設定はなく、社協としては早期実現のために市の企画部との調整は行っているため、評価点は3 ★課題は多いが、地域福祉活動の拠点として必要であるため、コメントにその趣旨を記載	
事業名：社会資源情報の収集整備	評価点：3
(評価コメント) ○同様の内容での継続が適当	
(評価根拠) ★年次計画のとおり事業が進められているため、評価点は3 ★適切に実施できているため、コメントは「継続」	
事業名：災害時要援護者・平常時要支援者の一元的データ管理	評価点：3
(評価コメント) ○関係機関への説明をしっかりと行っただうえで、計画的に進めていくこと。	
(評価根拠) ★数値目標設定はないが、システム導入が決定し、運用に向けて前進したため評価点は3 ★詳細を決め、関係者への説明を行う段階に入りつつあるため、計画的に行うようコメントにその趣旨を記載	
事業名：計画推進の成果の評価等	評価点：3
(評価コメント) ○今後の対策のとおり実践されたい。	
(評価根拠) ★年次計画のとおり事業が進められているため、評価点は3 ★地域福祉の成果を量的な指標で測るのは先行事例はなく、かなりの協議・検討を要するが、次期計画策定までに一定の評価を行う必要はあるため、確実に進められるようコメントに記載	
事業名：ボランティアセンター運営	評価点：2
(評価コメント) ○地域包括ケアシステムを推進するにあたって、地域のニーズを受け止める窓口機能を果たせるよう努力すること。	
(評価根拠) ★目標達成していないので、評価点は2 ★社協内におけるボランティアセンターの重要性が再認識されている。 ★地域包括ケアシステムを推進するにあたってボランティアの育成は不可欠であり、ボランティアセンターの担う役割はさらに重要なものとなる。 ★地域福祉の前線に立つ機関としての機能を十分に果たす必要があるため、その旨をコメントに記載	

事業名：ボランティア活動支援	評価点：3
○講座の開催はできているが、重要なのはそれを活動の活性化に繋げることである。先を見据えた講座内容となるよう工夫すること	
(評価根拠)	
★目標達成しているため、評価点は3	
★各講座の開催回数は目標達成できているが、重要なのはそこからどれだけボランティア活動を活性化できるかであるため、その旨をコメントに記載	
事業名：福祉人材バンク	評価点：3
(評価コメント)	
○今後の対策のとおり実践されたい。	
(評価根拠)	
★目標達成しているため、評価点は3	
★就職者数は増えたものの、福祉・介護分野における人材の確保は、依然として求められている。引き続き、ミスマッチの解消に向け努力するよう、コメントに記載	
事業名：災害時避難行動要支援者避難支援計画	評価点：3
(評価コメント)	
○関係機関への説明をしっかりと行ったうえで、計画的に進めていくこと。	
(評価根拠)	
★数値目標設定はないが、システム導入が決定し、運用に向けて前進したため評価点は3	
★制度開始に向けて、詳細を決め、関係者への説明を行う段階に入りつつあるため、計画的に行うようコメントにその趣旨を記載	
事業名：福祉避難所	評価点：3
(評価コメント)	
○今後の対策のとおり実践されたい。	
(評価根拠)	
★数値目標設定がなく、合理性のある実績数値の変化も見られないため、評価点は3	
★熊本地震において福祉避難所の不足が報道されており、本市においても福祉避難所の充足は課題であると考えられるため、災害時避難行動要支援者システムが導入される機会に、まずは必要な福祉避難所数を把握するようコメントに記載	
事業名：災害ボランティアセンター	評価点：3
(評価コメント)	
○同様の内容での継続が適当	
(評価根拠)	
★目標達成しているため、評価点は3	
★適正に実施できており、コメントは「継続」	
事業名：災害ボランティアネットワーク連絡協議会	評価点：3
(評価コメント)	
○同様の内容での継続が適当	
(評価根拠)	
★目標達成しているため、評価点は3	
★適正に実施できており、コメントは「継続」	

事業名：出前講座	評価点：3
(評価コメント) ○同様の内容での継続が適当	
(評価根拠) ★目標達成できているため、評価点は3 ★適正に実施できており、コメントは「継続」	
事業名：地域福祉講演会	評価点：3
(評価コメント) ○同様の内容での継続が適当	
(評価根拠) ★目標達成しているため、評価点は3 ★適正に実施できており、コメントは「継続」	
事業名：階層別福祉教育	評価点：3
(評価コメント) ○同様の内容での継続が適当	
(評価根拠) ★年次計画のとおり実施できているため、評価点は3 ★適正に実施できており、コメントは「継続」	
事業名：地域における人材育成	評価点：3
(評価コメント) ○地域支援事業としての人づくり、地域づくりに積極的なかかわりを	
(評価根拠) ★数値目標設定はないが、「生活支援コーディネーター」や「協議体」の設置に関して、積極的に関わる姿勢を見せており、評価点は3 ★人づくり、地域づくりは社協のあり方の根幹となる部分であり、積極的に取り組むよう、コメントに記載	